日本の豊かな海をどう将来に繋げるか

UMC 2026
TOYAMA, JAPAN
Underwater Minerals Conference

年に1回世界中を回って開かれている国際海洋鉱物学会が20年ぶりに日本に戻ってきて自然豊かな富山で開催されます。そのプレイベントとして市民講演会を企画しました。海の将来について語り合いましょう。

講演者 **張　勁** 富山大学副学長・教授 | 講演タイトル **水は巡る ―富山湾の恵み、環境再生の歴史と豊かな海の未来へ―**

富山湾は「天然の生け簀」と呼ばれ、日本有数の豊かな漁場として知られている。それは、地球の海洋大循環のミニチュア版である日本海、さらには立山連峰の雪や雨が河川や地下水を通じて富山湾へ運ばれる水と栄養塩など、さまざまな「めぐり」の賜物である。本講演では、水の王国・富山が豊かな海を育む仕組みを紹介するとともに、世界的な公害病であるイタイイタイ病の克服という環境再生の成功例を振り返る。海底資源やブルーエコノミーへの期待が高まる今、豊かな海をどのように次世代へ繋いでいくか、皆さんとともに考えてみたい。

講演者 **鈴木 勝彦** 海洋研究開発機構・上席研究員 | 講演タイトル **日本周辺で豊富な海底鉱物資源ができるわけ**

近年、脱炭素社会の実現やAI技術の発展に伴い、金属資源の需要増加が予想されている。一方、陸上資源には産出地域の偏りなどの課題があり、新たな供給源として海底鉱物資源が注目されている。日本周辺には、活発な海底火山活動や長い地質学的歴史を背景にマンガンノジュール、レアアース泥など、多様な鉱物資源が存在する。本講演では、これらの資源がどのように形成されたのかを紹介し環境に配慮した将来の資源開発に向けた課題と展望を考えてみたい。

日程 2026年 **11月8日（日）13時～14時半**（開場12時半）

会場 **富山国際会議場 3F メインホール**

市民公開講座
参加費：無料

参加申し込みフォーム https://forms.cloud.microsoft/r/DTdRrfk0yR